

## 平成28年度10月 訪問リハビリテーション研修会 報告

報告者 永原 真一

今年度の訪問リハビリテーション研修会は、10月8、9日の日程で例年通り2日間、全8講義（訪問リハ制度論、連携論、技術論、住環境論、リスク管理論、リハマネジメント論）10時間超の研修内容で行いました。3県士会より60名弱の参加をいただきました。

昨年に引き続き、「活動」と「参加」に焦点を当てたリハビリテーションについての講義を行いました。事例検討のグループワークも含み、ほかの講義よりも時間を長めに設けて理解を深められるようにしております。その分、昨年の研修会からリスク管理に関わる講義時間が短くなっていましたが、久松医師のリスク管理の講義は、利用者の疾病に伴うような医学的リスク管理のみならず、経営者である立場から訪問リハの運営全般のリスク管理についても幅広くお話いただき、十分にリスク管理の学びを得ることができておりました。全8講義、今年も訪問リハビリテーションについて、充実した講義内容で実施できました。

また、今年度も同会場内にて福祉機器展示会が開催されており、展示会場に全員で移動して移乗用リフトのデモンストレーションを見学したり、講義室に展示機器を持ち込んで講義が行われたりと、訪問リハビリテーションに必要不可欠である福祉用具への知識を深めてもらうことができる良い機会になったと思います。

次回は3月に一日研修を企画しております。今回の研修のアンケート結果を踏まえ、今後もよりよい研修会を開催できるよう取り組んでまいります。今後とも当会の活動を、よろしく願いいたします。

